

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		自動車臨時運行許可事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	緒田 恵子	
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名	山形 美穂	
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班	(内線)	1114	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	12
		1	2	3	1	11096			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		H17	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		~	年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 ・道路運送車両法に基づき、運行できない自動車を許可証と許可番号標を貸し出すことにより、特例的に運行できるようにする。										
【業務の流れ】 ①受付②内容審査③許可証、許可番号標の交付④手数料徴収⑤申請書、管理簿等の整理(3年程度保存)										
【主な予算費目】①需用費(印刷製本費)										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・20年度と同じ	
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 自動車臨時運行許可事務を適正に行った。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 臨時運行許可申請件数 イ	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	・自動車の臨時運行許可が必要な人	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 臨時運行許可申請件数 イ	件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・自動車の検査等により臨時に道路を運行するため、許可証と許可番号標の交付を受けることができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 臨時運行許可事務を適正に処理した割合 イ	%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・満足度の高いサービスを受けられる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 窓口サービス等の苦情等件数 イ 窓口アンケートの総合評価点数	件数 点数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  5,000 19,900 19,900
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	191						
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	390	17	17	17	17	17	17	
	(A) 事業費計	千円	581	17	17	17	17	17	17	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	13	11	11	11	11	11	
	延べ業務時間	時間	26,000	5,000	5,000	424	500	500	500	
	(B)人件費計	千円	103,220	19,900	19,900	1,688	1,990	1,990	1,990	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	103,801	19,917	19,917	1,705	2,007	2,007	2,007	
	活動指標	ア 件 イ	244	450	450	679	700	700	700	450
	対象指標	ア 件 イ	244	450	450	679	700	700	700	450
	成果指標	ア % イ	244	450	450	100	100	100	100	100
	上位成果指標	ア 件数 イ 点数	8 4.25	6 4.22	1 4.35	2 4.21	1 4.4	1 4.5	1 4.5	1 4.5

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
・平成18年2月27日に旧合志町と旧西合志町が合併し合志市となったため、市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業として開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・合併当初は合志庁舎市民課のみでの取扱としていたが、自動車整備工場から西合志庁舎での取り扱い要望があり、現在は2ヶ所で事務を行っている。周知が図られ、また近隣町村が事業を実施していないため、市外からの申請者も増加している。  
・20年度の振り返りを踏まえて、成果指標を変更した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・合併当初は合志庁舎市民課のみでの取扱としていたが、自動車整備工場から西合志庁舎での取り扱い要望があり、現在は2ヶ所で事務を行っている。

事務事業名	自動車臨時運行許可事務事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・内容審査を厳格に行い、取扱い事務の正確性・迅速性を確保できている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・市の事業として法令で定められた事業である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・事業の目的から自ずと対象者は限定されている。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・事務事業の性質から向上の余地は無い。 ・成果指標を適正に処理した割合に変更した。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・法定事務のため廃止等は出来ない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・法定事務であり、他の方法等は考えられない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しており、現状での取り組みが最良と考えられる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しており、現状での取り組みが最良と考えられる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・手数料条例に基づき徴収しているため適正である。 ・全ての市民に公平・公正な対応を行っている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>△</td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持 低下	△		△
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○	△														
	維持 低下	△		△														

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )